

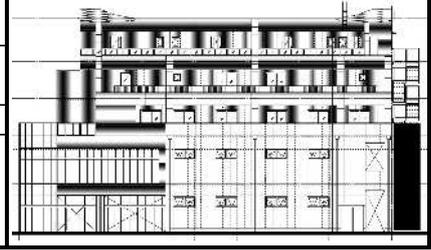
この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの期間限定で使用できます。

# CASBEE 新築[簡易版]

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年追加版Ver.2 (BP/BE対応) 使用評価ソフト: CASBEE-Ncb\_2010bpi&bel(v.2.11)

## 評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)北久里浜ハラルビルディング新築工事	階数	地上5F
建設地	神奈川県横須賀市根岸町3丁目9-3	構造	S造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	150人
気候区分	地域区分	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	病院、集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年8月 予定	評価の実施日	2014年12月16日
敷地面積	972 m <sup>2</sup>	作成者	大和ハウス工業(株)
建築面積	602 m <sup>2</sup>	確認日	2014年12月18日
延床面積	2,137 m <sup>2</sup>	確認者	大和ハウス工業(株)



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.6

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub> (温暖化影響チャート)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.5

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.6

音環境	2.3
温熱環境	2.6
光・視環境	2.6
空気質環境	2.9

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

機能性	2.4
耐用性	3.0
対応性	3.2

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

生物環境	1.0
まちなみ	3.0
地域性	2.0

LR のスコア = 2.5

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.6

建物の	3.0
自然エネ	3.0
設備システ	2.0
効率的	3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.5

水資源	2.2
非再生材料の	2.4
汚染物質	3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.4

地球温暖化	1.8
地域環境	2.3
周辺環境	3.1

3 設計上の配慮事項		その他
<b>総合</b> ・室内環境及び敷地外環境に配慮を行っている。 ・部品・部材の耐用年数、設備の信頼性、空間のゆとりなどサービス性能にも配慮している。		0
<b>Q1 室内環境</b> ・住居部は2.0%以上の昼光率を確保している。 ・居室面積の1/8以上の開閉可能な窓を確保し、自然換気性能に配慮している。	<b>Q2 サービス性能</b> ・給水・排水管の使用管材がVPなど、部品・部材の耐用年数に配慮。・節水型器具の採用、系統の分離など、非常時において、給排水・衛生設備の信頼性は高い。・階高、壁長さ比率の確保など、空間のゆとりに配慮。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>
<b>LR1 エネルギー</b>	<b>LR2 資源・マテリアル</b>	<b>LR3 敷地外環境</b> ・光害対策ガイドラインのチェックリストの一部を満たし、広告物照明無しなど、光害の抑制に配慮している。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される